群集心理の危険性：ソーシャルプルーフバイアス

ソーシャルプルーフバイアス（群集心理）とは、自分が周りと違うと周りに合わせようとしてしまいがちと言う意味です。

このバイアスは、間違ってはいけないと言う強迫観念により、周りがやっているなら正しいだろうと推測する事から生まれると言えるでしょう。

例えば子供が、「みんながスマホを持ってるから僕も私も欲しい」と言う事はよくあるでしょう。果たしてこの子供はスマホが欲しいのか？それともみんな持ってる物なら何でも欲しいのか？どっちでしょうかね？言い分から見ると、後者である可能性が高いでしょう。

みんなが持ってる、みんながやってる、何万人が満足した商品サービスと言う口説き文句はビジネスではよくある物で、このバイアスに乗っ取った、商品サービスを買わせる企業戦略なわけです。

このバイアスを打破するためには、データや論理を使って、「何でみんながやってるのか？持ってるのか？買ってるのか？そもそも本当にみんななのか？」と言う所を問いただしてみましょう。

そして、周りに影響されずに、感情に振り回されないで、客観的に物事を考えてみると、群集心理から抜け出す事が出来るでしょう。

最後に、周りのみんなが訳も無く、崖から飛び降り始めたら、あなたは「みんな飛び降りているから」と言って、飛び降りますか？